

学生の受け入れから、教育、卒業までの基本的な方針

アドミッションポリシー

●入学者に関する受入れ方針

次に例示する素養を持った人物の入学を求めている

- ・花や緑の持つ素晴らしさを楽しむことができる人
- ・花と緑の素晴らしさを人々に知らせることを望む人
- ・花と緑を使って人に安らぎや癒しを与えることを望む人 など

カリキュラムポリシー

●教育目標（育て上げようとする人物像）

- ・企業から喜んで迎え入れてもらえる人材
- ・花と緑を通じて人に豊かな気持ちや安らぎ、心地良い環境を提供できる即戦力たる人材
- ・働くことに夢と誇り、やりがいを感じることでできる人材
- ・常に向上心と自らの目標に関する事柄に興味・関心を持ち、創意工夫と努力を怠らない人材
- ・将来のオーナーやデザイナー、第一線で活躍を目指そうとする人材

◆各コースにおける教育目標

◇花き生産コース

これからの花き生産の担い手となる人材を目指すために以下を習得する

- ・花きの播種から育苗・交配などの生産技術
- ・挿し木、接ぎ木、株分けなどの繁殖技術
- ・灌水や肥料管理、病虫害防除、農場施設・設備の栽培管理技術
- ・生育調整技術などの花き生産の基礎から応用
- ・販売促進、経営管理、出荷技術、各種流通などの利益創出の知識 など

◇野菜生産コース

これからの野菜生産の担い手となる人材を目指すために以下を習得する

- ・野菜の播種から育苗・交配などの生産技術
- ・肥培管理、病虫害防除、農場施設・設備の栽培管理技術
- ・植物工場やスマート農業などの次世代農業まで野菜生産の基礎から応用
- ・加工技術、販売技術、経営管理などの利益創出の知識 など

◇グリーンコーディネートコース

植物を用いた癒しの空間を提供できる人材を目指すために以下を習得する

オフィスやショッピングモールなどの屋内空間を演出するグリーンコーディネートの基礎をはじめ、それを可能とする多種多様な植物の特性を習得する。

グリーンアドバイザーとして、園芸店やガーデンセンターで活躍できるよう、グリーンデザイン、ビジネス、園芸指導技術などについても幅広く習得する

◇フラワーコーディネートコース

花を使った豊かな生活を総合的にプロデュースできる人材を目指すために以下を習得する

フラワーデザインだけでなく、植物の管理方法、園芸資材などの商品知識、構成、造形、カラーコーディネートについての知識、技術を習得する。また、フラワーショップのマネージメントやブライダルなどの装飾計画の企画・提案力などについても習得する。

◇造園コース

ガーデニング・庭造りから都市緑化までに対応できる人材を目指すために以下を習得する

庭園から住宅地、都市計画に至るまで植物と資材を自由に扱える幅広い知識とテクニックを習得する。このため、企画・デザイン・設計から施工・管理の技術・知識までを総合的に学習する。

ディプロマポリシー

●卒業に際して学生に期待する要件

入学時に求めていた素養を、学習によって具体化できること

- ・自らが、花や緑の持つ素晴らしさを楽しむことができること
- ・習得した知識や技術をもって、花と緑の素晴らしさを人々に知らせることができること
- ・同じく、花と緑を使って人に安らぎや癒しを与えることができること

さらに

- ・常に向上心と自身の目標に興味・関心を持ち、創意工夫と努力を怠らないこと

●進級・卒業の要件等（成績評価基準、卒業・修了の認定基準等）

◇単位習得

前期末と後期末の定期試験（筆答、口答、レポート、実技）の結果に加えて、出席状況や学習態度等を加味して評価し、成績評価で 60 点以上をもって当該科目の習得とする

◇進級・卒業

1 年次中に所定の単位を修得し、学費等の未納がない場合に進級する

1 年次、2 年次とも所定の単位を修得し、学費等の未納がない場合に卒業を認定する

●成績評価における客観的な指標（GPA）の算出方法

試験の点数により、下表の通り評価、およびGP（Grade Point）を定める

	合格（単位修得）			不合格
評価	優	良	可	不可
点数	100-80	79-70	69-60	59-0
GP	3	2	1	0

以下の式より GPA を算出し、その数値により全学生の成績分布や各学生の相対順位を把握する

$$\text{GPA} = \frac{\text{[履修した科目の GP} \times \text{その科目の単位数] の和}}{\text{全履修科目の総単位数}}$$